

「第21回えざわ会」は新型コロナ(COVID-19)の解禁の声が聞こえる3月29日(水)例年通り神田神保町の学士会館で行われた。「えざわ会」はこの大都会で生き抜いて来た皆がここ学士会館の高級ランチとワインを味わいながらそれぞれのお話(自慢話でも)を紹介し合う。開催の案内から当日の進行まで総てを仕切ってくれる幹事中村氏(鉦 39)の存在が大きい。昨年の工業会会誌を見たが「えざわ会」以外は総てリモート開催であった。「えざわ会」は幹事中村氏の日程選択で昨年も桜の季節に開催出来ている。工業会東京支部の方は毎年東京総会が盛大に行われ私も楽しく出席した事があるが「えざわ会」の方はこじんまりしているぶん出席者全員が発言出来る。当日は幹事中村氏(鉦 39)からこの1年間に亡くなった4名の先輩同輩の紹介と黙祷があった。配布資料に「恩師の一覧表」があり大学情報として松木先生の大物釣りの話が紹介された。また「大江健三郎死去」の新聞コピーは愛媛出身者として紹介された。会長首藤氏(鉦 37)はコロナ自粛のせいで活気が無い、無線は止めているそうで運転免許は返納したと、出掛けるのはシルバー人材センターの打ち合わせくらいだと自虐的だったが広島の子友がクルーズ船に乗った話を紹介して「皆さん行きませんか」と誘っていたので来年は良い話が聞けると思う。今回最先輩の林氏(鉦 36)及び文化勲章の白髭氏(鉦 37)はオレオレ詐欺の手口が最近はより巧妙になった、金のある家の奥様を狙う、振り込ませるのではなく最近では持って来させる、など。特に林氏は実際に電車に乗って持参したが渡さなかった経験談もあった。林氏も白髭氏もそれぞれ全国各地の転勤経験から各地の飲み屋や観光名所など次から次に出て来る。ロスアラモス研究所とか伊豆半島とか博多や北海道などあちこちのエピソードに皆さん聞き入っていた。林氏は全国の桜の名所、弘前城、三春の桜、津山の桜、そして醍醐の桜では後醍醐天皇の話も出ていた。白髭氏は石原家の墓参りの例を出して、パートナーから「あんたで良かった」と言って貰える人であったかと意味深な話が出た。宮井氏(鉦 37)は自分の健康法にまつわる資料を配布して「腕ふり運動」で体力を整えて医者のお世話にならない人生をと話している。宮井氏は愛大出身の落語家「古今亭菊志ん」氏後援会仲間の浜松氏を誘って人数穴



